

教科 科目名	芸術 I	単位数(週あたりの授業時数)	2 単位
	音楽 I	履修学年(類型)	I 学年
教科書名(出版社名)		Tutti+ (教育出版)	

●学習到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。

●学習計画

学期	月	単元名	学習内容
1	4・5月	歌唱	・声という大切な楽器 ・クラスの歌声を響かせよう ・よく聴き合って合唱しよう ・混声合唱を美しく響かせよう
	6月	鑑賞	・情景を思い浮かべながら聴こう
	7月	創作	・私たちの郷土の音楽 ・音階
鑑賞		・オーケストラの魅力を探ろう	
2	9～11月	歌唱	・イタリアの民謡や歌曲
		器楽	・ギターの演奏を楽しもう
		創作	・和音、和声 ・循環コードで音楽をつくろう
	12月	創作	・コンサートを企画しよう
鑑賞		・交響曲の魅力を探求しよう	
3	1～3月	器楽	・和楽器のしらべ ～箏(こと)を弾こう～
		歌唱	・ドイツ歌曲の魅力
		器楽・歌唱	・アンサンブルを深めよう

●観点別評価

3観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	・音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解している。 ・創意工夫を生かした表現をするために必要な技能を身に付けている。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていこうとしている。
B	・音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現をするために必要な技能を身に付けようと努力している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受している。	主体的・協働的に音楽の活動に取り組み、音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を豊かにし、音楽文化に親しみ、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていこうとしている。
C	・音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて理解できていない。 ・創意工夫を生かした表現をするために必要な技能を身に付けようと努力していない。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚できていない。	主体的・協働的に音楽の活動に取り組み、音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を豊かにし、音楽文化に親しみ、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていこうとする態度が見られない。
評価方法	実技テスト 提出物(学習プリント・作品等)		学習プリント 観察
評価の重み	$\alpha=0.4$	$\beta=0.4$	$\gamma=0.2$